

平成31年第1回定例会（3月）一般質問

（4）町民が求める情報共有と参画の場について

○ 議員 宮下 裕美子 今のことと関連するので、次の質問に移ります。それでは、4点目です。町民が求める情報共有と参画の場についてということで、今のこととかなり関係してくることですけれど、質問いたします。町長は「各団体や町民の皆さまに積極的に情報提供を行い」「町民皆さまのご意見をしっかりと伺った上で」と常々、明言しております。私を感じるのに現実的には「団体」に重きを置き、広く町民に対しては対応していないのではないかと考えます。それは、私が町民として過ごした2年間、一人の町民としても感じましたし、私に対話した多くの町民の感想でもあります。確かに、行政手法としての広報広聴の手続き、アンケートや手続きに従った説明、パブリックコメントは行っていますけれども、例えば住民説明会においても、きめ細やかな開催、あるいは町民側に立った具体的な説明は、残念ながら少なかつたと思います。例えばJRの廃線に絡む説明会においても最終的に町長が説明会を開いたのは、すでに廃線が決まるような最終段階のところで、もっと早い段階で町民皆さんの意見を伝えたいという方がたくさんいらっしゃるって、最終的な住民説明会の時にもそんな話が少しは出ていましたけれども、そういうことが届かなくて終わりの頃だったということが残念でした。それから、町民側に立った説明というのは、先日の公共交通網計画の住民説明会の時もそうだったのですけれども、行政側は資料を作る側で、用語や内容を十分に理解しているからすごく早口でずっと流して説明することが可能ですけれども、聞いている側にとっては全然入ってこない難しい内容なのです。それが1回しか開催されていない形の中で、きめ細やかな開催や町民側に立った説明があらゆる場面で少ないのではないかと感じています。そういうことで、町民が物事を理解するには時間と回数が必要ですがけれども、そのあたりが足りていなかったのではないかと考えます。なので、もっと町民が参画できる段階でのきめ細やかな広報広聴と、町民側に立った情報提供、情報共有が必要なのではないかと考えます。町長は先ほどの病院のところでもご自身でやっているとおっしゃっている以上、私がこんな質問をしたとしても「やっているから。」と言われてしまえば、それまでですけれども、私としては、全然足りていないのではないかと感じているわけです。町

長は常々、出前町長室でやっているとおっしゃっていますけれども、奥山町長時代は「ようこそ町長室へ」といって町民サロンで質問しながらお話を聞くということをやっている、櫻庭町政時代も「出前町長室」があった中で、今回「櫻庭町長より町民に近い立場で皆さんのお話を聞きます。」と言っている上坂町長が、同じような出前町長室しかやっていないのは、もう少しより身近になってほしいと感じている町民の方もいらっしゃるということです。先ほどの話の中でも言いましたけれども、公共交通網形成計画や今詰められている地域拠点化整備基本構想等も、粗方な形が出て来ている段階の中で、住民が聞く。整備基本構想に関してはまだ何も分かりませんが、町民が聞く段階になって、意見を言って修正が可能な段階でそういうのが掲示されるのか、そういう機会があるのかということも一つ不安な要素です。それから、先ほどからお話ししている町立病院の在り方についても、私はもう少し町民との対話がほしいと思ったけれど、町長はそういうやり方はしないみたいな感じでありました。皆楽公園エリアの再整備についても、コンサルトとの中で計画等はできていますけれど、町民が実際にそれを利用するわけですから、そういう人の意見を聞く場面はどのようなだろうか。防災について、去年のブラックアウトがあった後の防災に対する聞き取り等をどの程度やったのか。その後の対策の対応がどうあったのか。その対策がどうなったのかということが、実際に町民側として一番知りたいのに、そういう場面もないわけで、例えば町政(まちづくり)懇談会でもその話題はなく、それに特化した説明会があるわけでもない。そんな感じの中で、色々な計画や事業が動いているにも係わらず町民側は知る機会がないので、そういう意味で、もっと町民に情報提供あるいは町民の意見を聞く参画の場を与えていただきたいということで、こういう質問をします。町長の見解をお伺いしたいと思います。

○ 議長 堀 広一 町長。

○ 町長 上坂 隆一 私は、町長就任以来、一貫して弱い人の立場に立って行政を進めて行きたい。それは、強い人を無視するというのではなくて、自ら意見を言えない、場があってもそこに行けない人たちにしっかりと目を向けてほしいと役場職員にも言ってきました。宮下議員が感じられていること、言われていることについては、宮下議員がそう感じておられる。それか

ら、宮下議員にそのように感じていると伝えておられる町民が、宮下議員は多数と言っておられますけれど、それも概念が曖昧のような気もしていますけれど、そういうことも含めて、そういう声も聞きながら、繰り返しになりますけれど、私は4年間、多くの町民の人たちから選ばれた責任と町長としての役割、そして多くの課題がありますが、議会の皆さんとは一定の距離を置きながらも、月形のまちづくりのためにしっかりと両輪となってやっていきたいと思っております。

○ 議長 堀 広一 宮下裕美子議員。

○ 議員 宮下 裕美子 町長が選ばれたということをおっしゃると、私はその選挙の対抗馬で負けた方ですから、それ以上何も言えない。それは現実なので、その部分に触れると何とも言えないですけれども、ただ、私は一人の議員として町民のそういった声を集めてお届けしているということです。私が一番危惧しているのは、現実的な話として、例えば先日の地域公共交通網形成計画の説明会が、金曜日の夕方6時から役場大会議室で、たった1回しか開催されなかったことに、ひとつ象徴していると思うのです。先ほどからお話ししてきたように地域公共交通網形成計画の大きな目的は、移動手段のない方々に新たな交通手段を提供することで、その対象は札比内地区や南地区の郊外部の方々です。その方々が計画を見ても分からないと言われたらそれまでですが、先ほどから言っているように、町民には丁寧に何回も色々な機会を捉えて話すことによって、じわじわと理解が深まるのだから、網計画の説明会があるなら、本来、それを一番利用する人たちがいる場で説明会を開いて、その人たちが集まれるような時間帯でやっていくのが本来ではないかと思うのですけれど、現実的には役場で夜に1回しかなく、それは、公共交通網計画だけかもしれませんが、例えば町政(まちづくり)懇談会にしても、今は交流センター、多目的研修センター、南地区広域集落会館、札比内コミュニティセンターの4カ所で行われていますが、全て夜の時間設定で、それは、行政区長がそのように要請するからその時間になるとおっしゃるけれども、少なくとも私のお付き合いしているの方々の中には、女性の高齢者の方々も居て「やっぱり夜は出歩けない。男の人がいる場面では、なかなか発言もできないから、そういう場に行って話を聞きたくてもできない。できれば、そういう機会があったら良い。」という話もされていたの

で、そういう町民の声もあるし、拾おうと思えば色々あると思うのです。そういう方々が、では、出前町長室でやっておっしゃるのですけれど、実際に出前町長室のやり方として、2週間前に書類の提出等色々あります。もちろん町長が職務もあって予定を組まなければならない等事情も色々あると思うけれども、何かそういうことに対しても対応していただきながら、町民との情報共有を図っていただければ。今までの中ではやっぱり足りないと感じている人もいるから、そういう意味で、何か今までと違ってもう一つ動きを見せていただけたら、そうすれば、そういう方にも届くのではないかと思うのですけれども、そのことについて、答弁をお願いします。

○ 議長 堀 広一 町長。

○ 町長 上坂 隆一 ただ今の議員のおっしゃっていることを真摯に受け止めて、前向きに検討し、形に表せるものについては、なるべく早く分かり易いよう丁寧を示して行きたいと思っておりますので、宜しくご理解ください。

○ 議長 堀 広一 宮下裕美子議員。

○ 議員 宮下 裕美子 今の件については、了解しました。